

広
報

なすからすやま

Nasukarasuyama City Public Relations

2023
August
No.215

8

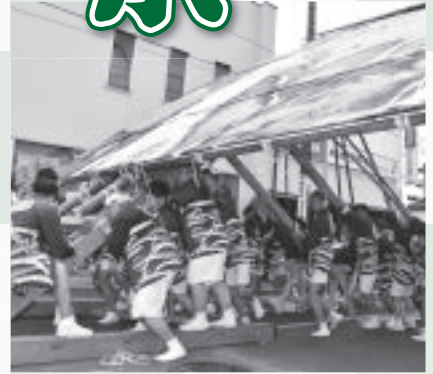


観光客でにぎわった
熱い3日間

特集 山あげ祭	2
庁舎整備について	6
防災集団移転について	8
「ここカラ」新規店舗オープン	10
まちかどリポート・「からせん」の思い出	13
お知らせ	14
みんなの自慢の1枚・落合橋でお絵描きイベント	16

ユネスコ無形文化遺産
国指定重要無形民俗文化財
「烏山の山あげ行事」

山あげ祭



460年以上の歴史を誇る日本一の移動式野外歌舞伎舞踊「山あげ祭」が、7月21日(金)から23日(日)までの3日間、烏山市街地で開催されました。期間中は昨年の観光客人込数(約4万人)を上回る約6万5千人が訪れ、多くの人でにぎわいました。

山あげ祭実行委員会(川俣純子実行委員会会長)では、今年も案内所や棧敷席の運営、食事処の確保など、おもてなしの充実に向けた様々な企画を実施したほか、各町や山あげ保存会芸能部会などに安全管理者を設け、祭典従事の直前に関係者に抗原検査を実施するなど、新型コロナウイルス感染症対策の取り組みも行われました。また、棧敷席の設置では、JANAの職員の皆さんにご協力いただきました。

今年(JR烏山線開業100周年記念6町屋台パレードが実施されたり、例年最終日にのみ上演される芸題「関の扉」が各日の最終公演で上演されたりと特色ある3日間となりました。

今月号では、「山あげ祭」の熱い3日間の様子をお伝えします。

20日(木) 前夜祭

本番に向けて準備万端

午後5時30分から金井町会所で会所開き。

午後7時を少し過ぎてから「笠揃」が始まり、芸題「三番叟」と「将門」が披露された。



- ①笠揃で整列する金井町若衆団
- ②公演前に観光客に向けて英語や中国語で山あげ祭を説明
- ③笠揃で披露された三番叟

■21日(金) 祭初日

いよいよ祭りの幕が上がる!

・午前5時30分から「出御祭」(神様を乗せたみこしを金井町若衆団が八雲神社から仲町十文字の御仮殿に奉還する)。

・午前9時30分から仲町十文字の御仮殿前で「天王建」(芸題「将門」)が奉納された。

・余興は正午から鍛冶町、午後2時30分から日野町、午後5時15分から泉町を訪問(芸題「将門」)。

・午後8時から金井町で「子供歌舞伎」(芸題「将門」)、午後10時からは芸題「関の扉」が上演された。



④金井町による出御
⑤他町への訪問
⑥邪気を払う金棒曳き
⑦天王建で奉納された将門
⑧初日の最後に披露された関の扉

■22日(土) 祭2日目

照りつける太陽に、祭りも熱を帯びる

・午前6時から「渡御祭」(再来年の当番町の泉町がみこしを担ぎ各町へ)。

・余興は午前9時30分から仲町、正午から元田町を訪問(芸題「将門」)。

・午後2時30分からJR烏山駅前まで芸題「戻り橋」を披露。

・その後、駅前広場から山あげ会館まで6町屋台パレードが行われ、終点の山あげ会館では6町によるお囃子の競演「ぶんぬき」が行われた。

・午後7時30分から金井町で芸題「将門」、午後10時から芸題「関の扉」が上演された。



⑨渡御で露払いをする赤面の天狗
⑩棧敷席を設置するJAなす南の職員
⑪舞台装置を移動する若衆
⑫水面に映る鬼女の顔

■23日(日) 祭最終日

暑い! 熱い! 盛り上がりも最高潮に

・午前10時から金井町で芸題「戻り橋」、午後1時30分から子供歌舞伎(芸題「将門」)が上演された。

・午後5時から「還御祭」(来年の当番町の仲町が八雲神社に神様を乗せたみこしをお宮入りする)。

・午後6時から八雲神社前で仲町以外の5町による「ぶんぬき」が行われた。

・予定より少し遅れて午後8時30分から金井町会所前で芸題「戻り橋」、午後11時からJR烏山駅前まで芸題「将門」が上演された。

・午後11時ごろみこしがお宮(八雲神社)入り。
・午前0時からは芸題「関の扉」と千秋楽の芸題「老松」が披露され熱気に満ちた3日間の祭りに幕を下ろした。



⑬将門を演じる子供歌舞伎の踊り子
⑭仲町による還御
⑮開演前の口上
⑯常磐津の皆さん
⑰千秋楽で披露された老松
⑱八雲神社前で行われたぶんぬき

J R 烏山線開業100周年記念 6町屋台パレード開催！

7月22日(土)、山あげ祭の輪番制を担う6町すべての大屋台がJ R 烏山駅前に集結し、山あげ会館まで練り歩きました。

このパレードは、今年開業100周年を迎えたJ R 烏山線を祝うために開催されたもので、6町の大屋台がそろうのは平成29年以來6年ぶり。川俣純子市長、三森文徳山あげ祭実行委員長、東日本旅客鉄道(株)の森明大宮支社長先導のもと、絢爛豪華な大屋台が列をなしました。パレードでは市民や観光客なども屋台の引き綱を引くことができ、およそ5千人が参加する大盛況となりました。



駅前通りを練り歩く大勢の参加者



記念のヘッドマークを掲げる川俣市長ら

帝京大の 丹羽准教授に感謝状



感謝状が贈呈された丹羽准教授と生徒

7月23日(日)、山あげ会館前の舞台上で、帝京大学経済学部地域経済学科の丹羽孝仁准教授に、烏山山あげ保存会から感謝状が贈呈されました。この感謝状は、今回の金井町で6町すべての当番町を手伝ったことへの感謝を示し贈呈されたもの。

丹羽准教授のゼミは「那須烏山市で何かを行う」ことをテーマに、若衆として平成29年から山あげ祭に参加してきました。丹羽准教授は「手伝いをする中で、山あげ祭を地域の皆さんが大切にしている思いを感じた。多くの人とつながることができてうれしい」と話しました。

烏山燦陶会が 陶芸展を開催



展示された陶芸品を鑑賞する観光客

市内の陶芸家4人で構成される烏山燦陶会が、山あげ祭期間中に那須烏山商工会2階で陶芸展を開催しました。展示された作品は、花瓶や茶碗、湯飲みなど200点以上。訪れた人は色や形などが一つひとつ異なる作品をじっくりと鑑賞していました。

また、7月22日(土)には烏山高校茶華道部によるお茶会が4年ぶりに開催され、烏山燦陶会のメンバーが作成した茶碗を用いてたてられたお茶を多くの来場者が楽しみました。

笑顔輝く



駅前広場に 烏山線記念ブース

7月22日(土)、午前10時から午後3時まで駅前広場でJR東日本宇都宮運輸区の社員によるJR烏山線開業100周年記念ブースが設置されました。

ブースでは歴代ヘッドマークの展示や子ども駅長制服体験コーナーなどが設けられ、駅長服を着た子どもたちが笑顔で写真撮影をしていました。

また、現在烏山線に掲出されている100周年記念ヘッドマーク8種類と同デザインの缶バッチのカプセルトイを配布し、多くの人が缶バッチを求めて列を作りました。

カプセルトイを回す子どもたち



駅長になりきって記念撮影

特別席で舞台裏を見学！



若衆が準備する様子を間近で見る参加者

7月23日(日)、午後の子供歌舞伎に合わせて栈敷席特別席が設けられました。初の試みとなった特別席では、冷たい飲み物やお菓子が用意された最前列で公演を鑑賞。また、公演前の準備を市観光協会(島崎健一会長、高橋誠一副会長)による解説を聞きながら見学できるツアーのほか、公演後には踊り子と記念撮影をする時間も設けられました。

茨城県鹿嶋市から訪れた高橋文男さんは「以前から山あげ祭に来たいと思っていたので、今回間近で見られてよかった」と特別席の感想を語りました。

ボランティアで まちをきれいに



山あげ会館周辺を清掃する烏山高生

山あげ祭に訪れた人に気持ちよく祭りを楽しんでもらえるよう、祭り前や期間中に有志によるごみ拾いなどの清掃ボランティアが行われました。

清掃活動にご協力いただいた皆さんは以下のとおりです。

県建設業協会烏山支部、県烏山土木事務所、南自治会、金井いきいきクラブ、市議会議員、烏山高校生徒、矢板東高校生徒、(株)Grow、県シルバー大学校OB・OG同窓会、商工会青年部、那須烏山の未来を考える会、全矢崎労働組合、地域住民(2組)、市職員労働組合

と
び
っ
く
す



た
く
さ
ん
の

第2回庁舎整備検討委員会

今後の庁舎方式や4庁舎の
 活用などについて議論

7月19日(水)に第2回庁舎整備検討委員会
 が開催されました。

「防災およびまちづくりの拠点となる新庁舎を新築整備することが望ましい。また、将来を見据えた新たなまちづくりと連携した一体的な整備が重要である」という第1回検討委員会での確認事項を踏まえ、今回は「今後の庁舎方式のあり方」「4庁舎の活用のあり方」をメインテーマとして議論しました。本号では、その内容をお伝えします。

今後の庁舎方式のあり方

本市の庁舎整備は、平成17年10月の合併後に議会の議決を経て決定した本市の最上位計画「市総合計画」において、行財政運営の効率化や今後の人口減少を見据え、国・県の官公署や都市機能が集積する烏山市街地に新庁舎を整備する方針が打ち出されました。これを踏まえ、本庁舎の早期整備に向け検討が行われてきました。

本市では合併以降、暫定的に「分庁方式」を採用し、4つの庁舎(烏山庁舎、南那須庁舎、保健福祉センター、水道庁舎)に分散して業務を行っています。分庁方式は合併に伴う暫定的な措置であり右記にあるように多くの弊害があります。なお、**県内で合併した市町は、新庁舎整備に伴い、全て本庁方式に移行しています。**

こうした現状を踏まえ、以下の項目について検討を行いました。

今後の庁舎方式

→本庁方式とすべき？分庁方式？

庁舎の場所

→どこのエリアに整備するのが望ましい？

地域の窓口サービス機能

→市民の利便性に配慮した窓口サービス機能は必要？

委員からの主な意見

- 複数の用件があるときに庁舎間の移動に時間を費やしている。本庁方式が望ましい。
- 職員がもっと連携し合い、働きやすい環境になることで高いパフォーマンスを発揮でき、それが市民サービスに還元されることに繋がってくると思うので、本庁方式が良い。
- 都市機能との連携、効率性、交通アクセスを考慮すると、都市機能が集積した烏山地区の中心市街地への配置が望ましい。
- 本庁方式としながらも、住民の利便性を考え、支所または出張所を設けるべき。
- 有事の際にも機能するように、本庁以外に地域の窓口サービス機能を置いて、代替施設としても使えるようにするのが良い。

本庁方式・分庁方式の違い

- 本庁方式…1か所に庁舎を設置し、各部署を集約する。
- 分庁方式…各地域に庁舎を設置し、それぞれに部署を設ける。

分庁方式の弊害

住民サービス面	<ul style="list-style-type: none"> •各庁舎にどの部署が配置されているか分かりにくい。 •複数の要件を済ませるために別の庁舎まで移動しなければならない。
行政効率面	<ul style="list-style-type: none"> •業務効率が悪く、迅速な事務処理・意思決定ができない。 •施設の維持管理のコスト削減が難しい。

委員会で確認した内容

- 今後の庁舎方式は、原則本庁方式とすることが望ましい。
- 新本庁舎は、烏山地区に新築で整備することが望ましい。
※烏山市街地ではなく烏山地区としたのは、市議会からの神長地区も候補地の1つとして検討すべきとの意見を踏まえたため。
- 地域の窓口サービス機能を配置することが望ましい。

4庁舎の利活用のあり方

今後の庁舎方式のあり方の検討を踏まえ、4庁舎の利活用について検討を行いました。

■烏山庁舎および南那須庁舎の現状と課題

- 未耐震で、施設や設備の老朽化が著しい
- バリアフリー対応が不十分
- 来庁者用駐車スペースが不足
- 常設の非常用電源設備が未整備 など

■保健福祉センターの現状と課題

- 計画的な維持管理や設備充実による施設の長寿命化
- 非常用電源設備からの電力供給が限定的
- 一方、新耐震構造であり、検診室や多目的室のほか、令和3年度の改修により事務室や会議室を整備し広いスペースが確保できることから、様々な活用が可能

保健福祉センターの活用方法

保健福祉センターを利活用すべきとの確認を踏まえ、事務局から具体的な活用方法を提案しました。

【案1】最小限の窓口サービス機能

現在の市民課南那須分室の取扱業務を基本とした「窓口サービス機能」を配置する。

【案2】最小限の窓口サービス機能+分庁的扱い

上記「窓口サービス機能」に加えて「教育委員会(学校教育課、生涯学習課)」を配置する。

■水道庁舎の現状と課題

- 新耐震構造だが施設や設備が老朽化
- 豪雨時における浸水対策も課題
- 基幹水道施設(城東浄水場)に近接しており、効率的な設備の維持管理を実施

委員からの主な意見

- 烏山庁舎は、耐震性もなく老朽化も著しい。跡地の利活用を見据えて解体撤去すべき。
- 烏山庁舎は、烏山城の麓にあり、文化的な所。跡地は、文化的な施設や学習の場となる施設整備をするのも良い。
- 南那須庁舎も烏山庁舎と同じく解体撤去し跡地を有効活用するのが良い。
- 南那須地区には大きな公園がない。武道館前の遊具を生かしつつ、広い芝生広場を作ると子どもたちも楽しめるのでは。
- 保健福祉センターは、耐震基準を満たしており、和室や調理室もあって汎用性もある。市役所の支所機能および災害時の避難所機能を兼ねた運用をすべき。
- 水道庁舎を単独配置とした場合、災害時に災害対策本部(本庁舎)と離れる。このデメリットについてもっと検討すべきでは。

委員会で確認した内容

- 烏山庁舎および南那須庁舎は、本庁舎移転後に用途廃止のうえ、解体撤去し、跡地を有効活用することが望ましい。
- 保健福祉センターは、今後も利活用し、窓口サービス機能とともに、避難所機能を兼ねた運用をするのが望ましい。
- 水道庁舎は、本庁舎へ集約するか、現在の場所で存続させるか、引き続き検討する。

8月16日(水)開催予定の次回の検討委員会では、「本庁舎に勤務する職員数の想定」「庁舎規模の再検討」といったテーマについて検討を行っていきます。

庁舎整備検討委員会の会議資料や会議録、庁舎整備ニュースレターのバックナンバーは、市ホームページで確認できます。また、庁舎整備に関するご意見については、住所・氏名・連絡先をご記入のうえ、メールで下記あてお送りください。

■問合 総合政策課庁舎整備推進室

Eメール: sohgoheisaku@city.nasukarasuyama.lg.jp



▲市ホームページ

下境・宮原地区における 防災集団移転促進事業

現在、下境・宮原地区において進められている防災集団移転促進事業は、災害危険区域内の住居を対象として、地域のコミュニティを維持しながら災害リスクが低い地域への集団移転を促進する事業です。

災害危険区域内の集落を基本とした「移転促進区域」を設定する必要がありますが、地域住民の合意が重要であるため、小規模相談会や個別相談会を開催しながら合意を図ることとしています。

小規模相談会

この事業は、地域のコミュニティを維持しながら集団での移転が条件であることから、これまで培ってきたコミュニティをなるべく壊さないよう、下境地区を3地区(川辺自治会、後石原・前石原自治会、西・尼寺自治会)、宮原地区を2地区(上流地区・下流地区)に分けた小規模相談会を3月と6月に開催しました。

小規模相談会では、移転先地や移転に対する不安等について意見交換を行い、移転先検討箇所について一定の合意をいただいたことから、市では今後、移転先検討箇所の測量や設計を行っていきます。



6月に行われた小規模相談会の様子

個別相談会

移転をされる住民の皆さんにとっては、「移転先はどこになるのか」「住宅を建築する費用はどうなるのか」など、移転に対して様々な不安があります。このような不安を解消するために、世帯ごとの個別相談会を7月から8月にかけて開催しています。

個別相談会では、移転についての意向確認をはじめ、不安に感じることの相談、建物などを移転する際の補償に関する考え方などについて、住民の皆さんから話を伺ったり、市職員が説明をしたりします。

建物移転補償とは？

移転促進区域内において住宅が建っている宅地などは、建物移転補償などの対象となります。

補償額は建物によって異なるため、対象となる建物の仕様や規格・寸法などの詳細を把握するための調査を行い、その結果に基づき、補償額が決定します。

市では、今後こうした小規模相談会や個別相談会を重ね、丁寧な意見交換を行っていくことで、住民の皆さんの不安を解消し、移転の対象となる全ての世帯から、移転に対する同意をいただくこととしています。

■問合

都市建設課都市計画グループ

☎0287-88-7118

ごみ分別だより

刈り取った草木などを出すときは

草木が伸びる時期は、せん定した枝木や刈り取った庭の草、葉っぱなどを燃やすごみとして出す人が多く見られます。

ごみステーションに一度に大量の草木などを出すと、他の利用者の妨げとなってしまうことがあります。そのため、ごみステーションに出す袋の量は「1度に3袋」程度にし、十分に草木を乾燥させてからごみ出しするようお願いします。

また、ごみを大量に出す場合は、保健衛生センターへ直接持ち込むようにしてください。

市では、ごみ分別アプリ「さんあ〜る」を配信しており、ごみカレンダーやごみの分別方法を確認できます。アプリは右のQRコードを読み取るか、「さんあ〜る」と検索することでダウンロードできます。ぜひ、ご利用ください。



1度に
3袋まで

草木は乾燥
させてから



iPhone版



Android版

生ごみの減量にご協力ください

普段皆さんが出している燃やすごみには、実は多くの水分が含まれており、特に食べ物などの生ごみは、約80%が水分と言われています。水分を含んだごみをそのまま出してしまうと、ごみの腐敗や悪臭の原因となります。ごみの水切りを行うと、軽くなってごみ出しが楽になるほか、収集や焼却の効率もよくなります。生ごみの水切りは、簡単かつ効果的にごみを減量することができるので、皆さんのご協力をお願いします。

また、市では生ごみの処理機器(コンポスト・機械式生ごみ処理機)を購入した際の費用の補助を行っています。購入を検討している人は、ぜひ、ご活用ください。補助制度の詳細は、下記あてお問い合わせください。

■問合 まちづくり課環境グループ
☎0287-83-1120



自宅で簡単！ 生ごみの水切り小ワザをご紹介します



- STEP 1** 不要になったCDを用意します。
- STEP 2** 生ごみを市販の水切りネットに入れます。
- STEP 3** ネットの口をすぼめ、CDの穴から通します。
- STEP 4** CDの穴から通したネットの口を引っ張り、生ごみの水分をCDの円盤部分で絞ります。
- STEP 5** ネットを引っ張りにくい場合は、流しに生ごみを置き、CDの円盤部分を手のひらで押し付けるようにして水分を絞ります。

チャレンジショップ那須烏山「ここカラ」 新規店舗オープン！

那須烏山商工会が運営するチャレンジショップ那須烏山「ここカラ」(中央2-12-26)に、弁当やクレープなどを販売する新規店舗「Kitchen~^{いろ}彩あい~」が7月21日(金)にオープンしました！

- 営業時間：午前11時～午後7時(不定休)
- 連絡先：080-2579-0617

「ここカラ」は新規事業者や創業間もない人、新規分野への進出を志す人を支援する施設で、現在1部屋の空きがあり、引き続き入居者を募集しています。詳細は、那須烏山商工会(☎0287-82-2323)までお問い合わせください。



◀ここカラの外観

現在
営業中！

弁当・クレープ・
ソフトクリームの販売

Kitchen~^{いろ}彩あい~



このたび「ここカラ」で「Kitchen~^{いろ}彩あい~」を姉妹でオープンすることになりました。那須烏山市内をはじめ栃木県内の新鮮な農産物を主に、弁当・クレープ・ソフトクリームなどを提供します。農家さんやお客様とのつながりを築き、皆さんと一緒に地元を盛り上げるお店にしていきたいです。

Instagram ▶



◀お囃子を演奏する烏山中郷土芸能部

社会を明るくする運動 子どもいきいきフェスタ開催

7月8日(土)、那珂川町のあじさいホールで第73回「社会を明るくする運動」栃木県子どもいきいきフェスタ I N南那須が開催されました。

この催しは、犯罪や非行の防止について理解を深めるために行われたもの。4年ぶりの今回は南那須保護区保護司会(佐竹信哉会長)を中心に実行委員会が組織されての実施となりました。フェスタでは鈴木英一宇都宮保護観察所長から福田富一知事への内閣総理大臣メッセージが伝達されたほか、レクリエーションとして本市と那珂川町の子どもたちがダンスや郷土芸能を披露し、会場を盛り上げました。



◀水門が閉じ、水が止まっているか確認する参加者

出水期を迎え 城東排水施設の作動を確認

6月29日(木)、城東の那珂川の堤防にある城東第一排水樋管及び排水施設作動テストが行われ、地元消防団や地域住民など15人が参加しました。

城東第一排水樋管は、城東地区の雨水などを排出する水路に那珂川の増水による逆流を防ぐための水門で、排水施設は樋管を閉じた際の内水を排出するためのポンプ設備です。

参加者は機器の説明を受けた後、作動手順に沿って樋管の閉門確認と排水ポンプの運転を確認しました。



◀ つながりの大切さについて講演する酒井さん

地域のつながり、大切さを学ぶ 地域活動再開に向け研修会開催

7月12日(水)に、市と市社会福祉協議会が主催する「みんなで『つながり・ささえあい』の地域をつくる研修会」が烏山公民館で開催されました。

この研修会は、コロナ禍によって休止された地域活動の再開に向けて地域住民間のつながりや支え合い活動の大切さを考えることを目的としたもので、自治会役員やいきいきクラブの会員など約90人が参加しました。

研修会では、全国各地の地域活動支援に携わる「ご近所福祉クリエイター」の酒井保さんによる講演が行われ、地域活動へのヒントが得られました。



◀ 寒ざらしそばを試食する参加者

八溝そば街道推進協議会が 寒ざらしそば試食会を実施

八溝そば街道推進協議会(熊倉精介会長)が、7月11日(火)に城東の「そば夢サロン梁山泊」で寒ざらしそばの試食会を開催しました。

冬の冷たい水につけたあと寒風にさらして乾燥させた玄そばを使って打つ寒ざらしそばは、通常のそばよりも甘く、風味がよいのが特徴です。

試食会は、8月15日まで八溝そば街道推進協議会の加盟店で開催される寒ざらしそばキャンペーンに先立ち、今年のそばの出来を確認するために開催されたもので、参加者は「甘みがある」「おいしい」と寒ざらしそばの味を堪能していました。



◀ 倉松俊弘さんの講演を熱心に聞く参加者

医療と仏教から人生を見つめる 南那須地区地域住民公開講座

南那須医師会(佐藤充会長)と那須烏山市、那珂川町が主催する南那須地区地域住民公開講座が、7月9日(日)に烏山公民館で開催されました。

この講座は、在宅医療や介護サービスについて地域住民に理解を深めてもらい、在宅医療を推進していくためのもの。講座では、「自分らしく生きる」というテーマで講演が行われ、元小児科医で鹿沼市の薬王寺で住職をする倉松俊弘さんを講師に迎え、医療と仏教の視点から高齢化社会における一人ひとりが人生を豊にするための考え方を学びました。



◀ 横断幕贈呈の様子

烏山ロータリークラブ 烏山駅に「山あげ祭」PR 横断幕

6月27日(火)、烏山ロータリークラブ(滝口貴史会長)が市役所烏山庁舎を訪れ、同クラブが観光客向けに作成した横断幕を川俣純子市長に贈呈しました。

この横断幕は、同クラブが社会奉仕団体としての認知度向上と、山あげ祭で本市を訪れる観光客へのおもてなしのために作成したもの。6月30日(金)には、会員らによる横断幕の掲出作業が行われ、7月31日(月)までJR烏山駅の駅前広場に掲出されました。



◀ オカリナの優しい音色に包まれたコンサート会場

オカリナ・サークルあんだんて 20周年を記念しコンサート

オカリナ・サークルあんだんて(落合信夫代表)が7月9日(日)、南那須公民館で「20周年コンサート」を開催し、約200人が訪れました。当日は、サークル員やオカリナ教室の生徒合わせて14人が23曲を演奏。曲に合わせたかわいらしいダンスも披露されるなど、オカリナの優しい音色や息ぴったりのハーモニーで、満員の客席を魅了しました。

落合代表は、「予想以上に多くの人に来ていただき、驚きと喜びの気持ちでいっぱい。これからも楽しく仲良く活動を続けていきたい」と笑顔で語りました。



▶ しらはりでみこしを担ぐ若衆

藤田地区で威勢の良い声響く 4年ぶりにみこし練り歩く

7月8日(土)、藤田八坂神社の天王祭が4年ぶりに行われ、藤田地区を練り歩きました。

100年以上の歴史を誇るこの祭には、地元自治会や育成会、消防団など多くの地域住民が参加。当日は、「しらはり」を着た若衆が350kg以上あるみこしを担ぎ、威勢の良い掛け声を響かせながら、藤田地内を練り歩きました。

当日は、子どもみこしも練り出し、大人たちに負けじと元気いっぱいに祭を盛り上げました。



市では、放課後児童健全育成事業として、保護者が就労などで昼間家庭にいない市内小学校の児童に対し、放課後や学校の長期休業中などに適切な遊びや生活の場を提供することで、保護者が仕事と子育てを両立できるよう支援を行っています。

実施場所は、市内5つの小学校の余裕教室を活用して行っており、運営は、シダックス大新東ヒューマンサービス(株)に委託しています。

利用申込

例年10月～11月に翌年分の受け付けを行います。毎年度申し込みが必要です。

利用申込の受け付けが開始された際は、広報お知らせ版や市ホームページに案内を掲載します。なお、各クラブには定員がありますので、希望者が多いクラブは、低学年等の優先度順に選考されることがあります。

放課後児童クラブの利用料金や申込書類などの詳細は、市ホームページでご確認ください。

■問合 こども館 ☎0287-80-0281

～放課後児童クラブ～



クラブの様子



校庭での外遊び

まちかど*レポート



東京ドーム約2個分の田んぼで米を育てる船山さん

チャレンジ精神とめげない強さで 農家 船山 瑛子 さん



自身が育てたもち米で作った
あげもちを手にする

プロフィール

- 住 所：森田
- 趣 味：音楽鑑賞

農業歴14年の船山さんは、米や麦のほか西洋野菜を栽培しています。「一度きりの人生、とりあえずチャレンジしてみよう」と農業の道に進むことを決心し、農業大学卒業後に父・国雄さんのもとで就農しました。

レストランなどに野菜を卸したり、自身が育てたもち米を使ったあげもちのパッケージ製作に携わったりと、これまで様々なことにチャレンジしてきた船山さん。「夢や目標だったことが実現できている。大変なこともあるけれど、楽しいことは自分で見つけなきゃ」と笑顔を見せます。

船山さんは、お客さんに良いものを届けたい一心から、自分の目で耳で鼻で、納得がいくまで品質チェックを行います。「農家は1人で会社を経営するようなもの。作物を育てることや発注・経理も、みんな自分の責任になる。お客さんに『おいしい』『また食べたい』と喜んでもらったときにやっと安心できる」と話します。

「これ以上ない最高のものが作れたと思えたことは少なく、まだまだ勉強中。不安もあるけれど、農業で大切なのはめげないこと。時代に合った農業ができるように工夫していきたい」と笑顔で語る船山さん。その柔らかい表情の奥に秘めたチャレンジ精神とめげない強さが、「攻めの農業」の原動力になっています。

JR烏山線全線開業100周年事業 「からせん」の思い出

JR烏山線が4月に全線開業100周年を迎えたことを記念し、市民の皆さんから寄せられた「からせん」の思い出を紹介いたします。

匿名希望さんからのエピソード

烏山線は生まれたときからずっと側にある存在です。幼少期は終車が通るのを見るまで眠らず、その姿や音とともに暮らしてきました。その後宇都宮の高校に通うようになり、3年間の通学で利用しました。単語帳や問題集を広げたまま眠ってしまい、終点で友人に起こされたことや、部活帰りに軽食片手に語り合ったことを今でも鮮明に覚えています。いまは進学先からの帰省で利用していますが、乗るとやはりホッとします。

春からは地域交通について研究する予定です。烏山線とともに育ったことが、この研究にありつくきっかけとなったのでしょう。お世話になっている分、今度は自分が何か恩返しをできたらと考えています。

あなたのおきエピソードをお待ちしています！

■募集内容

「からせん」にまつわる思い出エピソード(約200文字以上250文字以内)。写真も掲載できます。

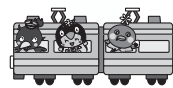
■応募方法

住所、氏名、連絡先を記入のうえ、メールなどで左記あて送付する。市ホームページのメールフォームからも応募できます。

■問合せ まちづくり課地域づくりグループ

☎0287-183-1151

Eメール: machizukuri@city.nasukarasuyama.lg.jp



お知らせ



市の人口

令和5年7月1日現在

人口 23,442(-42)

男	11,653	女	11,789
出生	3	死亡	37
転入	48	転出	56

世帯数 9,093

※()対前月比
※令和2年国勢調査を基に集計した統計人口です。



おめでた♡♡

赤ちゃん名 (保護者)住所
 荒井 俊哉 (敏充・香奈)大 沢
 助川 文里 (文仁・優里)中央2丁目
 菊池 あさひ (芳治・沙紀)小 倉
 ※ここでは、保護者などの了解が得られた情報のみを掲載しています。



スポーツの結果

●第12回那須烏山市実年ソフトボール交流大会 (6月5日(月)、6日(火)、緑地運動公園)
 ▼優勝：江川▼準優勝：荒川▼第3位：鳥山ソフトボール愛好会
 ●第18回那須烏山市春季市民ソフトニス大会 (6月11日(日)、緑地運動公園)

【一般】▼優勝：永島香川面正男▼準優勝：青山裕一、小倉由美子▼第3位：大野雅彦、高津戸竜太

【シニア】▼優勝：秋元隆夫、澤村祐毅▼準優勝：澤村絹代、塚原文江▼第3位：赤羽美枝子、肥田博

●第30回茨城県ジュニアオープン空手道選手権大会 (6月11日(日)、イーエスなもも体育館)
 【中学1年生男子個人組手】▼第3位：荒井斗真(白雲会空手道)

【中学3年生男子個人組手】▼敢闘賞：寺澤聖心(白雲会空手道)

【小学2年生女子個人組手】▼敢闘賞：人見柚稀奈(白雲会空手道)

●令和5年度ファミリー記念混合ソフトボール大会 (6月19日(月)～21日(水)、緑地運動公園)
 ▼優勝：藤田▼準優勝：ハケ代

●第45回壮年ソフトボール大会 (6月16日(金)、21日(水)、鳥山運動公園)
 ▼優勝：野上ソフトボールクラブ▼準優勝：やまびこクラブ

●第54回栃木県実業団剣道大会 (6月25日(日)、宇都宮市河内体育館)
 【ねんりんの部】▼優勝：小田弘

●第26回塩那柔道大会 (6月18日(日)、県立県北体育館)
 【1年生軽量級】▼優勝：平野陽仁(習励館)▼第3位：鈴木新士(同)

【2年生軽量級】▼準優勝：平野陽大(習励館)

【3年生重量級】▼準優勝：大森羽琉(習励館)

【5年生軽量級】▼第3位：荻野目夢(習励館)

●第18回那須烏山市民柔道大会 (7月2日(日)、那須烏山市民武道館)
 【小学1・2年生の部】▼優勝：赤坂駿次郎(鳥山小)▼準優勝：鈴木新士(七合小)

▼第3位：平野陽大(鳥山小)

【小学3・4年生の部】▼優勝：赤坂厘太郎(鳥山小)▼準優勝：大森羽琉(同)▼第3位：池田志優(荒川小)

【小学5・6年生の部】▼優勝：加藤裕騎(荒川小)▼準優勝：鈴木想士(七合小)▼第3位：有我佳氣(荒川小)

【高校生の部】▼優勝：木島耶麻人(宇都宮工業高校)▼準優勝：桑島英明(鳥山高校)



「グ」寄附 ありがとうございます

ふるさと応援寄附金

中島孝幸様(埼玉県さいたま市)から16万6千円、匿名希望者様15人から合計20万3千円が本市に寄附されました。

企業版ふるさと応援寄附金

日産化学(株)様(東京都中央区)から寄附をいただきました。

写真パネルの寄附

神野紘字様(熊田)から保健福祉センターに写真パネルが寄附されました。

開店1周年 イベント

オープン1年の感謝を込めて

①くじ引き(8/12～9/30)

・お会計時 オリジナルマグカップ、ドリップパック等が当たります!

②高級コーヒー販売(8/12～)

詳しくは店頭にて!



ひだまりコーヒーハウス

中央1-20-37
10:00～18:00(木・金曜日定休)

宝くじ
公式サイト

宝くじがネットで
購入できる!

宝くじ公式サイト



宝くじの収益金は、明るく住みよいまちづくりに使われます

お問い合わせ先 宝くじコールセンター TEL 0570-01-1192 (ナビダイヤル 有料)
TEL 011-330-0777 (有料)

編集後記

今回は山あげ祭です！期間中は取材で駆け回っていたので「これはやせたな！」と確信して体重計に乗ると2kg減！結果にコミットできてウキウキでしたが、その翌日に体重計に乗ると2kg増…。「減っていたのは水分が抜いただけだったのかぁ」とぬか喜びの夏でした…(K)

山あげ祭、大盛況でしたね!!公演会場は見渡す限り人・人・人。お客さんの熱気で、体感では+5℃会場の気温が上がっていた気がします(笑)撮影でアツアツになった体を冷ますために、休憩時間にレインボーアイスを食べました！数年ぶりの懐かしい味。溶けてきたアイスを慌てて食べるこの感じも、夏の醍醐味ですね。(M)

新着図書

南那須図書館 ☎0287-88-2748 Fax88-0204
 烏山図書館 ☎0287-82-3062 Fax82-7566

図書館HPから新着図書が検索できます。 <https://lib-nasukarasuyama.jp/>

◆一般図書◆

- ◇『空想地図帳』 今和泉 隆行
- ◇『がんばらない効率化』 諏訪 寿一
- ◇『幻想と怪奇ショートショート・カーニヴァル』 「幻想と怪奇」編集室
- ◇『図書館のお夜食』 原田 ひ香
- ◇『昭和怪談』 嶺里 俊介
- ◇『異能機関上・下』 スティーヴン・キング

◆CD◆

- ◇『式』 優里
- ◇『Mr.5』 King&Prince
- ◇『ひみつスタジオ』 スピッツ
- ◇『歌謡浪曲名作選』 坂本 冬美
- ◇『マジック・リイマジンド』 DCappella
- ◇『グロリア』 サム・スミス

◆児童図書◆

- ◇『伝統の和食から現代のWASHOKU』 服部 幸應
- ◇『住みたくない星ずかん』 入澤 宣幸
- ◇『AIマスクはいかがですか?』 赤羽 じゅんこ
- ◇『すもうのずかん』 オゼキ イサム
- ◇『ともだちはマーメイド』 ブライオニー・メイ・スミス

◆電子図書◆

- ◇『メンタル体操』 森本 稀哲
- ◇『図解眠れなくなるほど面白い職業と給料の話』 高田 晃一
- ◇『ハラヘリ読書』 宮田 ナノ
- ◇『盤上に君はもういない』 綾崎 隼
- ◇『ぼくらの七日間戦争』 宗田 理
- ◇『昆虫の体重測定』 吉谷 昭憲
- ◇『マダム・ミャーゴのひみつのない』 青山 邦彦



文芸コーナー

俳句

- 田を植ゑて風の景色となりけり 磯 和子(下川井)
- トンネルを抜けて神長の夏景色 柳 つしま(中央)
- 永別の母の声聴く青葉風 板橋 陽子(岩子)
- 夏祭り身振り手振りに自宅前 蓮田 和子(金井)

川柳

- 大皿のサラダを飾るミニトマト 伊藤 善子(田野倉)
- 虫干しで母の匂いを抱きしめる 渡辺 節子(大金)
- 徒歩楽し米寿の春を愛でながら 荻野目香津(中央)
- エアコンもフル回転の梅雨の明け 萩原 宣子(中央)

短歌

- 武骨なる夫が何度も問いかける痛みと熱に臥したる我に 古内 晴代(金井)
- 息子よりマスク届きぬコロナ禍はまだ終息せず油断するなど 安藤 伯麗(旭)
- 故郷の親友先に旅立ちぬ短歌を友に過さず日々なり 滝 輝巳(福岡)
- 朝ごとにウグイスの声聞きながら世話してくれる娘と朝餉 川手 トヨ(金井)

作品集 作募

毎月5日までに、総合政策課広報広聴グループ ☎321-10692 那須烏山市中央1丁目1番1号)あて、郵送などにて応募ください。

文芸の応募方法が変わります

- ・作品募集の締め切り日が、「毎月10日まで」から「毎月5日まで」に変わります。
 - ・作品を応募するときは、「俳句」「川柳」「短歌」のどの部門への応募なのか明記してください。
- ※応募方法の変更は9月号からです。



安心な暮らしをサポート!

三井住友海上代理店

(有)しおや保険事務所

- ◇損害保険:自動車・火災・企業賠償(サイバー) 他
- ◇生命保険:新総合収入保障・新医療・ガン保険 他
- ◆お問合せ 〒321-0526 那須烏山市田野倉383
- TEL:0287-88-9870 FAX:0287-88-0234

みんなの自慢の1枚



市民の皆さんが撮影した写真を掲載します。子どもの写真(中学生以下)、市内のイチオシ風景や穴場スポットの写真、ペットの写真、偶然撮れたおもしろい写真(珍百景)など、気軽にご応募ください。

応募の際は、①応募者の住所・氏名・連絡先、②掲載する際の名前(氏名・ペンネーム・匿名のいずれかを記載)、③写真のタイトル、④写真について一言(50字程度)記載してください。

■問合 総合政策課広報広聴グループ

Eメール: sohgoheisaku@city.nasukarasuyama.lg.jp



「早朝の荒川を望む」

koboriさん

7月早朝
北原より十二口方面にレンズを向けてみました



「ここが落ち着くんです」

縞三毛のはなちゃんさん

紙袋やバッグ、段ボール箱の中が大好き。いつのまにかすっぽり収まっていて、家族の笑いを誘います。

完成前の橋に願いを込めて

落合橋で

お絵描きイベント

7月13日(木)、現在架け替え工事が行われている落合橋で、烏山小3年生の児童62人を招いて床版に絵を描くイベントが開催されました。

このイベントは、令和元年東日本台風(台風第19号)で被害を受けた落合橋の架け替え事業をとおして、子どもたちに災害復旧事業への関心を深めてもらおうと県烏山土木事務所が主催したもの。同イベントでは烏山中1年の荒井聡介さん(向田)と荒井美咲さん(向田)が揮毫した橋名板のお披露目式が行われ、2人には橋名板のレプリカが贈呈されました。その後、烏山小の児童たちによるお絵描きが始まり、児童たちは「おめでとうおちあいばし」など思い思いに描き入れていました。

イベントに参加した小磯莉音奈さん(野上)は、「友達と一緒に絵描きできて楽しかった。初めてだけどうまく描けた」と笑顔を見せていました。



◀橋名板を揮毫した荒井聡介さん(左)と荒井美咲さん(右)

あうがわ

落合橋

おめでとう

橋の床版に絵を描く児童▶



令和5年度コミュニティ助成事業報告

(一財)自治総合センターは、宝くじの社会貢献広報事業として、集会施設やコミュニティ活動の備品整備に対して助成を行い、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与するための「コミュニティ助成事業」を行っています。

「一般コミュニティ助成事業」のメニューを活用し、熊田西自治会が太鼓等の整備を行いました。



■問合 まちづくり課 ☎0287-83-1151